

日時：令和7年4月24日（木）
11時～12時
場所：庁議室

令和7年度 第1回 鹿島市DX推進本部会議



■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 新しい地方経済・生活環境創生交付金の採択結果

■ 02 令和6年度DX推進の取組総括

■ 03 令和7年度DX推進の取組方針

松尾市長（D X推進本部長）から

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 新しい地方経済・生活環境創生交付金の採択結果

■ 02 令和6年度DX推進の取組総括

■ 03 令和7年度DX推進の取組方針

■ 事業費

18,592千円

（うち、採択額（国費）9,296千円）

※ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）とは

デジタルを活用した地域課題の解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を支援する交付金（内閣府）
＝ 補助率1/2

▶ 財源も確保しながら、地域課題の解決、市民の暮らしの変革及びサービスの充実を実現する取組を進める！



新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）：採択結果

庁舎内証明書交付サービス事業（市民課：9,418千円）

R7.10月
開始予定



書かなくてよい！
マイナンバーカードで
自動発行！



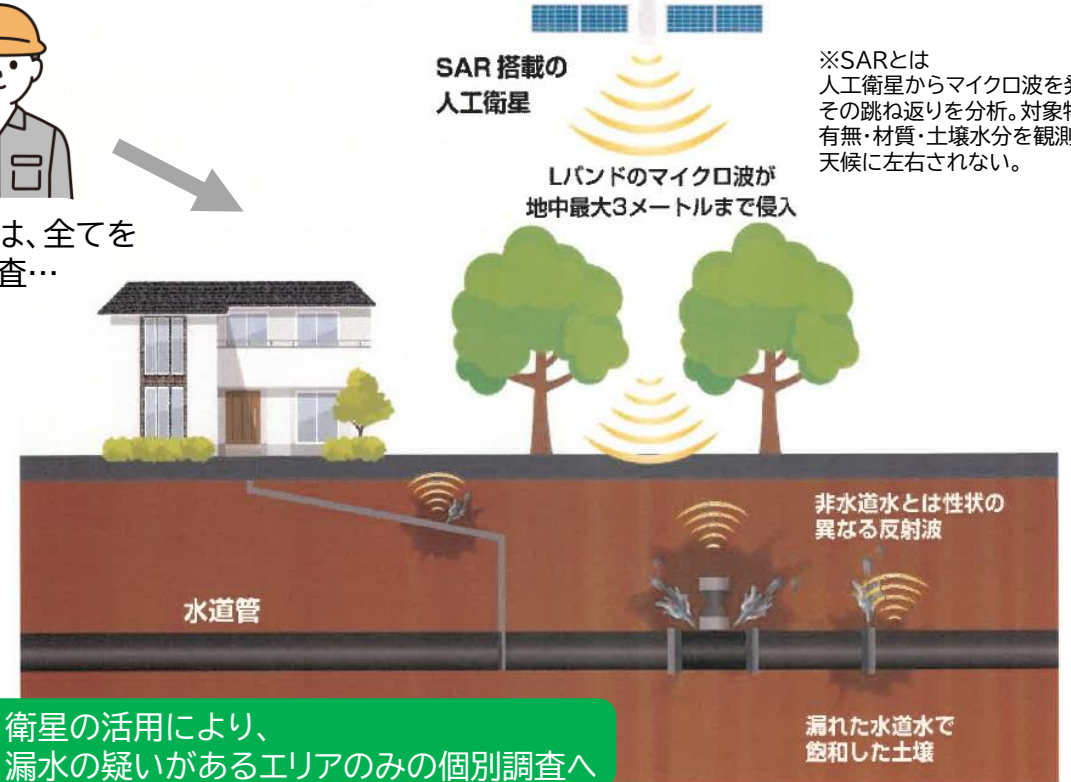
効 果

- 行政キオスク端末を庁舎内に設置し、来庁者が**申請書を記入せずに証明書（住民票の写しや所得証明など）を取得できる**
- 市民に行政キオスク端末の使用を経験してもらうことで、**デジタル化への苦手意識の解消**及びコンビニ交付サービスの周知に繋げ、**コンビニ交付率向上**へ
これにより、窓口の混雑緩和及びDXの普及推進を図る

衛星を活用した漏水調査事業（水道課：9,174千円）



今までは、全てを
現地調査…



- 給水区域内の衛星データをAIで解析し、漏水の疑いがあるエリアを漏水調査する
- これまでの広大な給水区域をいくつかに分け、複数年のサイクルで全域を調査する方法から、漏水の疑いがある絞られた範囲のみを調査するだけで済み、**調査効率化が図れるとともに、漏水の早期修繕による二次災害防止と有収率向上**に繋げる

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 新しい地方経済・生活環境創生交付金の採択結果

■ 02 令和6年度DX推進の取組総括

■ 03 令和7年度DX推進の取組方針

窓口DX
(書かない・待たない窓口)



公式LINE拡充
(申請～決済、施設予約)



誰一人取り残さない
スマホ相談会



行政サービスDX

「行かない・書かない・待たない」

人にやさしい役所づくり

地図情報Web公開
システム整備



事業者サービスDX
(電子入札システム整備)



友だち登録数

8,000人

突破！

これまでの機能拡充により



- ・役所まで行く時間がない。。
- ・知りたい情報が探せない。。



- 自宅からかんたん申請！
- 必要な情報がすぐ届く！

■ 主なバージョンアップ

- オンライン申請・予約、キャッシュレス決済
- マイナンバーカードによる本人確認
- 行政情報のセグメント配信
- ごみの収集日の事前通知
- 道路、河川、不法投棄や動物死骸の通報
- AIチャットボットによる
ごみの分別方法の自動応答 など



市民の声

- ・ R6年度の公式LINEからの電子申請や
確定申告予約などは、計 **2,000** 件！
- ・ 普段利用している**アプリ1つで手続きが
完結**するので、かんたんで便利！



今 後

- 出前講座や相談会の定期的な開催
- 地域(D研や鹿島高校)と連携した普及推進
- さらなる機能のバージョンアップへ

R 6 年度 てのひら市役所（市公式 L I N E）の利用状況

機能	手続名	オンライン申請数 (オンライン率)	担当部署	備考
申請	・住民票の写し ・印鑑証明書 ・戸籍謄本・抄本 ・所得証明書	37件(0.1%)	市民課	※コンビニ交付数 4,010 件(約20%)
	・名寄帳 ・納税証明書	6件(0.2%)	税務課	
	・水道使用開始申込 ・水道使用中止届	206件(12%)	水道課	
予約	・公共施設 (体育館など16施設)	144件(3%)	生涯学習課	
	・確定申告相談	726件(28%)	税務課	※LINE予約満足度調査結果 満足・やや満足： 89% (回答数:117件)
	・マイナンバーカード受取更新	289件(13%)	市民課	
	・各種健診	1,082件(21%)	保険健康課	
通報	・道路や河川の損傷報告 ・不法投棄・動物死骸	12件	建設住宅課 環境下水道課	

大好評！



▶ 今後、さらなる利用推進に向けて、庁内各課で周知・案内していく！（窓口対応時間の減にも繋がる）

書かない窓口システム

R7.2月
スタート



職員が聞き取りながら作成

- ・住所変更などの手続きを**原則、署名のみ**とし、追加申請書も**自動印字**することにより、住民の記入負担軽減と滞在時間短縮を図る。
- ・利用実績：**451** 件（全体のほぼ100%）

効果

- 書き方に悩まなくてよい！
- 何度も書かなくて済む！
- デジタルが苦手な人も安心！



窓口キャッシュレス決済

R6.9月
スタート



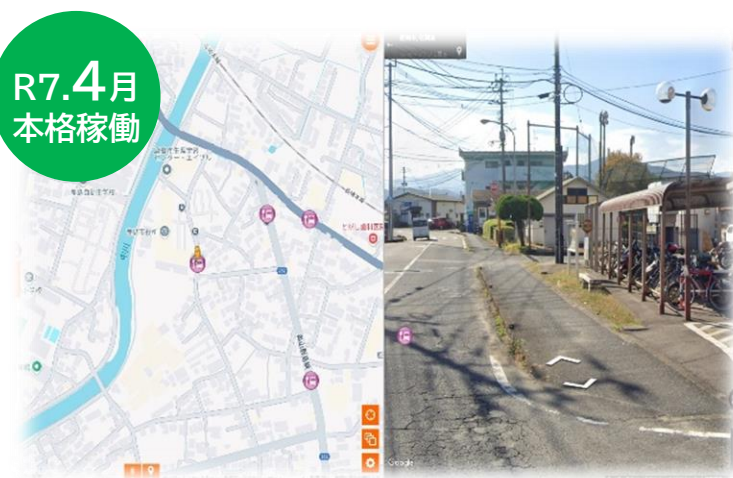
- ・市民課と税務課の窓口において、各種証明書等の発行手数料の支払いに、**クレジットカードや電子マネーなどが利用可能**に。
- ・利用実績：**588** 件（約3%）

効果

- 支払いに係る複数の選択肢の提供
- 住民の待ち時間の短縮
- 職員の釣銭の受け渡し作業の減少

鹿島市デジタルマップ『かしまっぷ』

R7.4月
本格稼働

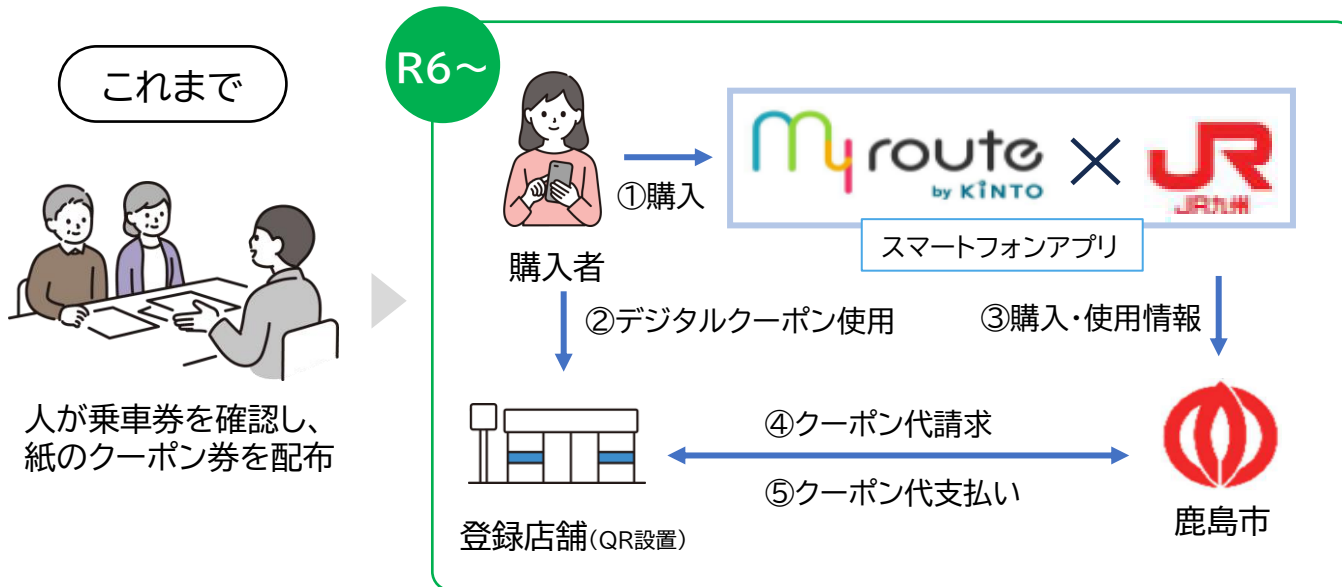


- ・市が保有する**様々な地図情報**（都市計画・上下水・地番図・道路・航空写真など）を、**一元的に管理・活用**し、インターネット上に**広く公開**。
- ・**16部署の58データ**を統合して一元管理。

今後

- 地域(DX研究会)と連携した利用周知
- 各課で問合せの際に、利用を促していく
- 庁内の取組立案のためのデータ利活用へ

神特典デジタルチケット 第4弾（Maas推進）



・「かささぎの乗車券・自由席特急券」「祐徳バスの36時間フリー乗車券」「神特典（クーポン1,000円分）」を付与したデジタルチケットをスマホアプリ「my route」で販売することにより、JR長崎本線利用促進とMaaSの推進を図る。

・ 利用実績：26 件(R6.9月～R7.1月)

効果

- 人による配布・管理の手間 → 自動販売・管理不要
- クーポン印刷費の発生 → 印刷費不要
- 「my route」取得 → MaaSの推進が可能

※ Maas：複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて、検索・予約・決済等を一括で行うサービス

AIオンデマンド交通の研究



今後

- ・ 現在、交通空白地帯の解消に向けて、乗合タクシーの区域拡大により対応しているが、より効率的な運行が求められるため、AIオンデマンド交通などの費用対効果などを検証し、本市に適した公共交通対策の研究を引き続き地域事業者とともに進める
- ・ R7は、公共交通のデータ分析、現状評価、方向性を整理する

概要・目的

- ・ 鹿島市をフィールドとして、複数の荷主の商品を積み合わせて、**効率的に配送する「共同配送」**と、迅速な配送でコストや地球温暖化の要因となっている温室効果ガスの低減が期待される**「ドローン物流」**を組み合わせ**脱炭素化・DXを促進させる「スマート物流」**の実証実験をR7.2月に実施。



配送事業者2社分の荷物をドローンへ積む(海道しるべ)



ドローンが着陸する様子(七浦婦人ホーム)



ドローン配送を受け取る住民の方(七浦婦人ホーム駐車場)

実証結果

- ・ 飛行ルート上の電波状況も途切れることなく、歩行者等の視認もしっかり確認でき、実装を見据えた有用性があることを確認できた
⇒ 災害時の買い物弱者の解消につなげることができる！

今 後

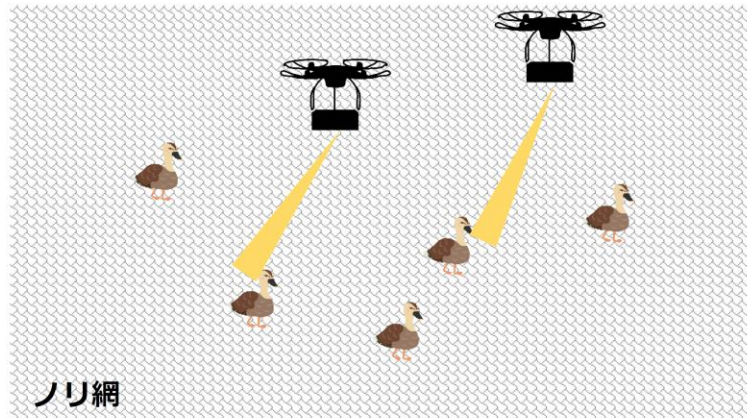
- ・ 「実証⇒実装」の検討のための継続した効果検証
- ・ 災害時に備えて常設するかは、費用対効果を考慮して要検討

概要・目的

- ・海苔養殖の食害対策と漁業者の対策負担の軽減のため、R5の「空中ドローン(ホロライト)」による実証実験に引き続き、R6は、九電ドローンサービス株式会社の「水上ドローン」によるカモの誘導実証を実施。

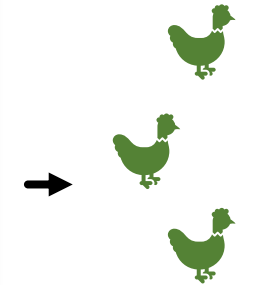
R5：空中ドローン

- ・ドローンに高出力のホロライトを搭載して光を照射する



R6：水上ドローン

- ・船上(または陸上)から人がドローンを操縦
- ・ノリ網周辺からカモを誘導する



別エリアに誘導

実証結果

- ・カモ誘導の優位性や自動運転の実用性など、一定の効果を確認
- ・今後、効果的・継続的な対策とするため、事業収益化やドローン機器の課題も多くあり、課題解決に向けて調査を進めていく

- ・令和6年度 海の次世代モビリティの利活用実証事業(国交省)として、九電ドローンサービス株式会社が申請し、採択
- ・市町(鹿島、白石、太良)と漁協支所は、実証に協力

概要・目的

- ・ 農業の担い手不足や高齢化の課題に対し、ドローン防除など先端技術の導入による**スマート農業化等に取り組む農業者を支援**することにより、農作業の効率化による農業所得の向上、**新たな担い手の確保、地域農業の維持推進**を図る。（補助額：50,000円/人）

スマート農業の取組例：農業用ドローンを活用した果樹の防除

その他



人作業による防除作業



ドローンによる防除作業



自動田植機



自動収穫機

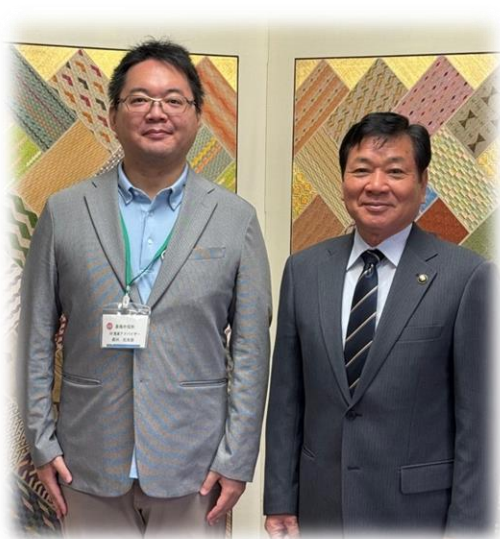
効果

- ・ ドローン活用により、手作業が不要となり、作業時間の大幅な削減、省力化、低コスト化へ
- ・ 自動収穫機や自動散布機の活用により、収穫や農薬散布などの作業を効率化へ
→ 高齢化や労働力不足による農業の担い手不足の解消へ繋げる！

実績

- ・ 合計200千円（4件）
- ・ 有機JAS農園の認証登録やドローンの免許取得など（みかん、たまねぎ、米など）

森川 壮太郎 氏（R6.4～R7.3.31）



これまでの活動

- ① DXの具体的な施策立案（行政・観光・新駅舎AI利用など様々な分野）
- ② 庁内業務の効率化支援（ExcelVBA・メール集計プログラムなど）
- ③ 行政手続オンライン化支援（てのひら市役所拡充・LoGoフォームなど）
- ④ シティプロモーションの強化（PR動画作成・かし丸くんLINEスタンプなど）

※ その他、市長への提案や地域イベントなどにも多く参加

R7

今村 尚路 氏（R7.4～）

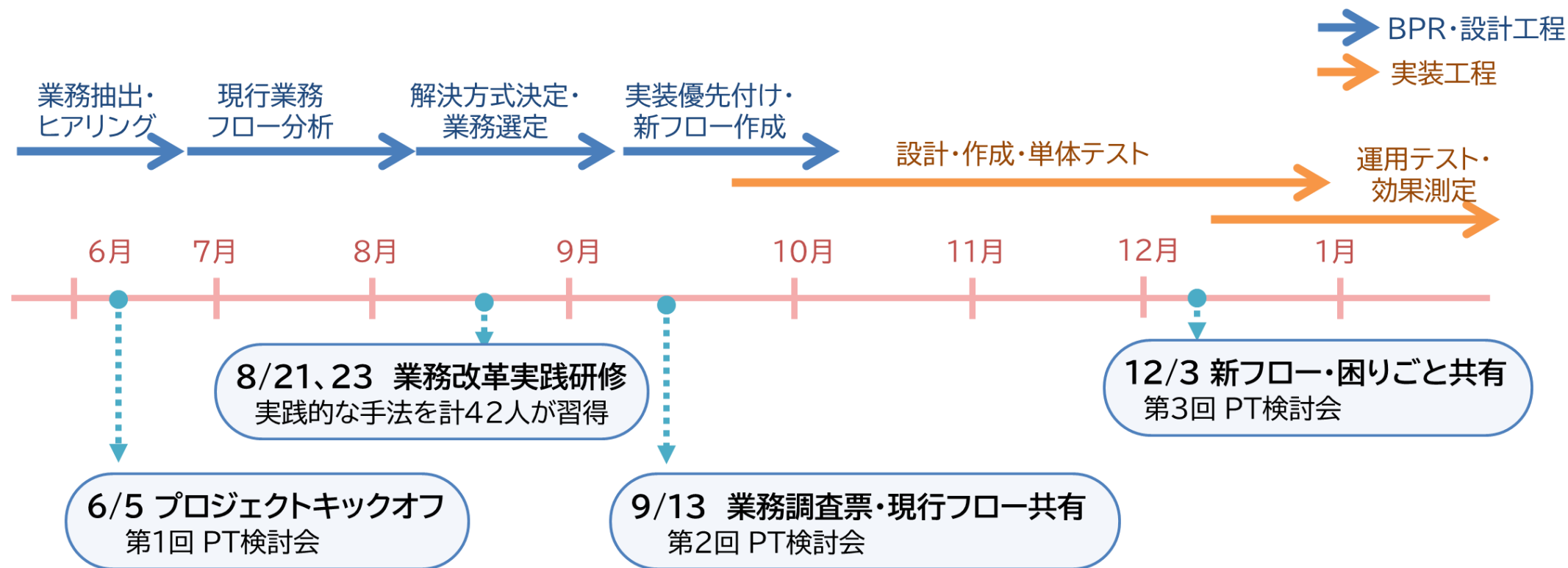


【経歴】

- ・ DMM.com 地方創生事業部
DXチーム チームリーダー
- ・ R6は、北海道苫小牧市で
地域活性化企業人として
スマートシティ推進やシティ
プロモーションの施策を支援

今後の活動

- 今まで重視してきた庁内DXの支援からステップアップして、**庁内各課の「地域課題の解決」に向けた新たな企画、プロジェクト推進**へ従事
- 最終的に**既存施策の磨き上げ、新たな施策の取組実装**までを推進



8/21・23 業務改革実践研修(42人)



庁内プロジェクトチーム(各部署から13人)

分析結果

- ① LoGoフォームの積極的な利用や、LoGoフォームを活用したデータの作成作業の自動化が多く見られた。
- ② 同部署で1つ成功事例ができれば、横展開が起きやすい（雰囲気醸成）
- ③ 内部事務の効率化のみではなく、申請書の簡素化や、書かない窓口の導入など
住民サービスに向上効果のある改善もあった。



定量評価

年度	業務数	対応前	対応後	削減時間	削減率
R5	20 業務	3,018 時間	1,766 時間	1,252 時間	41.4%
R6	21 業務	4,916 時間	3,510 時間	1,406 時間	28.6%
合計	41 業務	7,934 時間	5,276 時間	2,658 時間	33.5%

職員時給単価にすると…

2,658時間/年× 1,938円/時

= **5,151 千円/年** の
業務時間削減効果（見込）

定性評価



- ① 転記作業の自動化
によるミスの防止、
心理的不安軽減



- ② 改善風土の醸成、
職員の意識・
リテラシー向上



- ③ システム作業環境
の改善
(複数人対応可能)

【参考】事例／保険健康課／ガン検診インターネット申込受付業務

元々の業務の流れ

処理者

申込者

保険健康課 予防係

システム等

Logoフォーム

Excel

健康管理システム

健康管理システム

プロセス

申込受付

回答を
ダウン
ロード

Excelを見
やすく編集
して印刷

紙を見ながら
申込情報を
1件ずつ手入力

申込状況で対応が必要な
場合、市民へ連絡

受診票
印刷

改善前
【83時間】

定員がある検診と個別検
診は受付簿(紙)に記載

1,000件／年

BPRを行った箇所

- ・Logoフォームの回答から健康管理システムへの登録自動化(RPA)
- ・定員がある検診と個別検診の名簿作成自動化(RPA)

50時間削減
39.8%

ミス防止へ！
別の受診勧奨
業務へ専念

BPR後の業務の流れ

Logoフォーム

Excel

健康管理システム

Excel

健康管理
システム

改善後
【33時間】

プロセス

申込受付

回答を
ダウン
ロード

システムへ申込情報
を一括アップロード
で申込登録

申込状況で対応が必要
な人のリストを作成

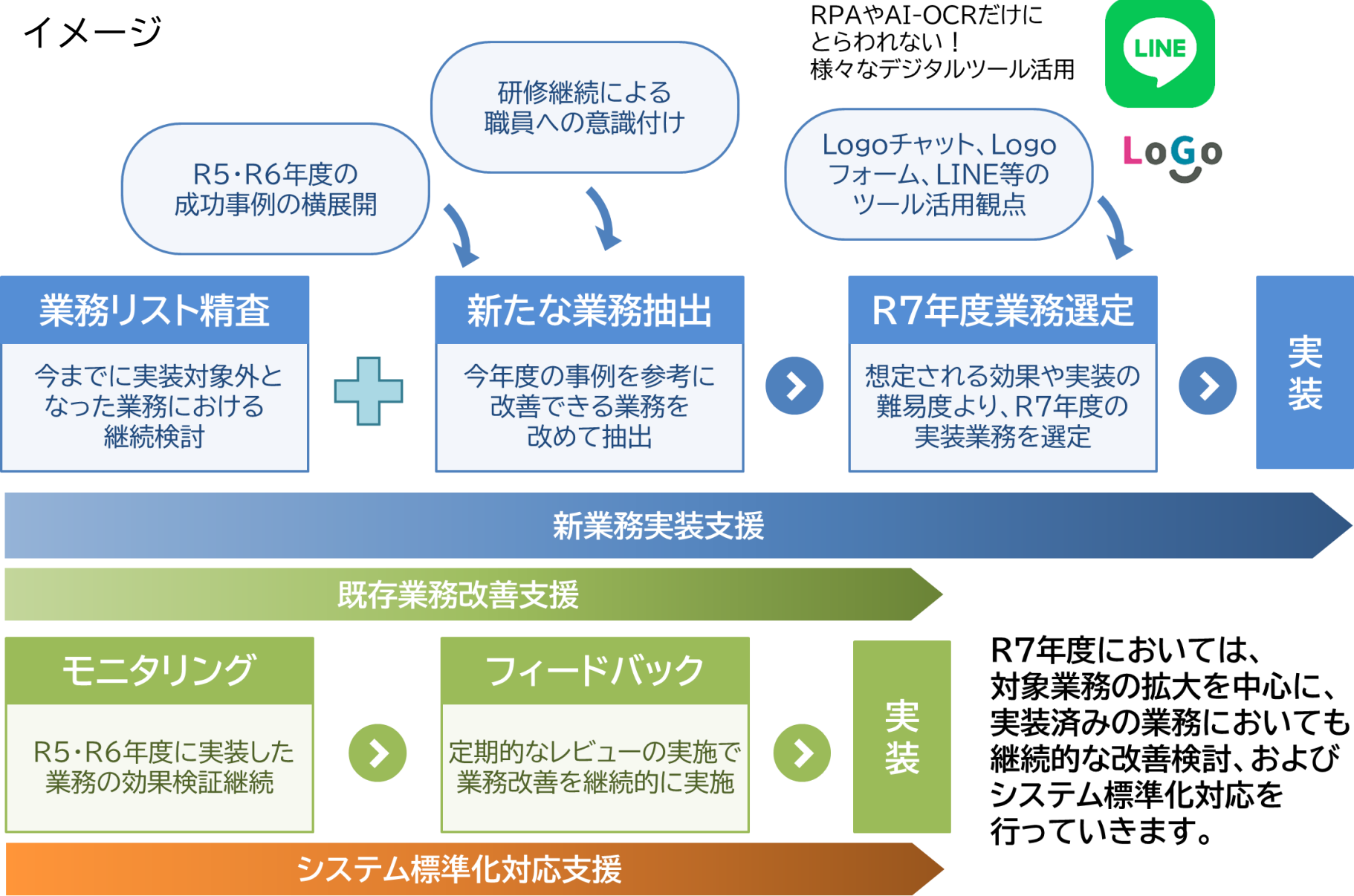
定員がある検診と個別
検診のリストを作成

市民へ
連絡

受診票
印刷

令和7年度 B P Rプロジェクト取組計画

■ イメージ



人にしかできないことに
注力できる環境づくり



政策立案や
新規事業検討



相談業務や
窓口対応の充実

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 新しい地方経済・生活環境創生交付金の採択結果

■ 02 令和6年度DX推進の取組総括

■ 03 令和7年度DX推進の取組方針

令和7年度 取組方針「市民接点の改革」と「職員の働き方の改革」

年度	取組内容
令和4年度 【体制づくり】	DX推進室を設置 鹿島市DX推進本部(市長～各部長)を設置 DXワーキンググループを設置し、計画策定に向けて検討開始
令和5年度 【方針・計画策定】 【内部DXから着手】	「かしまデジタル変革(DX)戦略&アクションプラン」を策定 【テーマ:庁内DX(職員の腹落ち)から。小さく始める】 LoGoチャット導入、業務改革PJスタート(RPA・AI-OCR導入)、生成AIの実証・導入、公式LINE(てのひら市役所)事業開始、DX推進アドバイザーの派遣、地域との連携協定締結
令和6年度 【サービス実装】	【テーマ:デジ田交付金を活用した市民サービスDX「行かない・書かない・待たない窓口」へ】 公式LINE拡張(電子申請・施設予約)、公開型・統合型GISの導入、書かない窓口システム導入、無線LAN構築、窓口キャッシュレス決済導入、電子入札システム導入、LoGoフォーム導入、テレワーク試行、電話の自動応答、庁舎施錠時間の見直し など
令和7年度 【サービス拡充】 【職員の働き方改革】	【テーマ:「新地創交付金を活用した市民接点の改革(サービス拡充)」と「職員の働き方の改革」】 プレミアム付商品券事業(地域通貨・ポイントアプリ構築含む)、行政キオスク端末整備、コンビニ交付発行手数料減額(10円)、WEB口座登録システム導入、文書管理・電子決裁システム導入(財務会計システムの電子決裁導入・サブディスプレイ整備含む)、DX人材育成事業 ※そのほか、地域DX(衛星を活用した漏水調査など)も



これまでの経緯を踏まえ、令和7年度は、

- 市民により実感いただくための「市民接点の改革(サービス拡充)」
- 今まで着手できていなかった「職員の働き方改革(文書管理の更なるステップアップ)」へ



市民も職員もWinに！

地域経済の好循環へ

- ・市内のみで利用できる電子地域通貨の基盤を構築し、行政ポイントやクーポン配布、ふるさと納税の返礼品など様々な事業に活用することで、地域のにぎわい創出や地域経済の好循環、行政コストの削減を実現する
- ・プレミアム付商品券事業のデジタル発行にも対応する



令和7年度 主なDX関連事業の予算

新地創交付金（デジタル実装） 重点支援地方交付金

No.	事業名	事業概要	予算	担当部署
1	庁舎内証明書交付サービス事業 (行政キオスク端末整備)	・行政キオスク端末を庁舎内に設置し、申請書の記入負担軽減、 デジタル化への苦手意識の払拭およびコンビニ交付率向上へ繋げる	9,418千円	市民課 DX推進室
2	衛星を活用した漏水調査事業	・衛星データをAIで解析し、漏水の疑いがある絞られた範囲のみを 調査することにより、調査効率化が図れるとともに、漏水の早期修繕による 二次災害防止と有収率向上に繋げる	9,174千円	水道課
3	プレミアム付商品券発行事業 (地域通貨・ポイントアプリ構築含む)	・消費喚起による地域経済の活性化のため、プレミアム付商品券（電子・紙） を発行するとともに、地域経済の好循環を実現するため、地域通貨・ポイン トアプリを構築	88,000千円 (R6繰越)	商工観光課 DX推進室
4	コンビニ交付発行手数料減額 事業(10円へ)	・コンビニ交付の証明書発行手数料の減額により、市民の負担軽減を図るととも に窓口交付よりも発行手数料が低額なコンビニ交付に誘導	2,506千円	市民課 DX推進室
5	文書管理・電子決裁システム導入	・文書管理について、紙管理から電子管理へと移行するため、現行のファイリング に対応する文書管理・電子決裁システムを導入	25,602千円	総務課 DX推進室
6	財務会計システム電子決裁導入	・財務会計システムの伝票処理の電子決裁を導入	8,800千円	会計課 DX推進室
7	庁内サブディスプレイ整備	・文書管理・決裁の電子化に伴う環境整備のため、また、職員の作業効率向上及び ペーパーレス化の推進を図る	2,792千円	DX推進室
8	DX人材育成事業	・前例踏襲ではなく、デジタル技術の活用による社会課題を捉えた政策企画や 政策形成ができる「DX人材」を育成する体系的な研修を実施	1,997千円	DX推進室
9	WEB口座登録システム導入	・公金口座振替の申込みがスマホやパソコンからできるWEB登録システムを導入	75千円	税務課 ほか
10	スマート農業の取組支援	・ドローン免許や有機JAS・GAP資格取得等への補助(1人当たり5万円)	100千円	農林水産課
11	カモの食害対策の取組支援	・カモが嫌がるLEDとGPSを搭載したドローンなどのレンタル機器の補助 (1人当たり20万円)	1,000千円	ゼロカーボン 推進室

計 149,464千円

新地創交付金（第二世代）

今後のスケジュール（今後、各部署で意識して取り組んでいただきたい事項）

● かしまデジタル変革(DX)戦略を軸とした施策実施

- ・ 課題解決のツールの1つとして、
各部署が主体的に〇〇DX(交通、こども、教育、健康、建設、防災、観光、環境、……)を推進

● 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用

- ・ R8年度当初予算要求に向けた検討、DX推進室との調整（事例サイト:<https://raida.go.jp/digitaldenen/41/41000/cases/>）

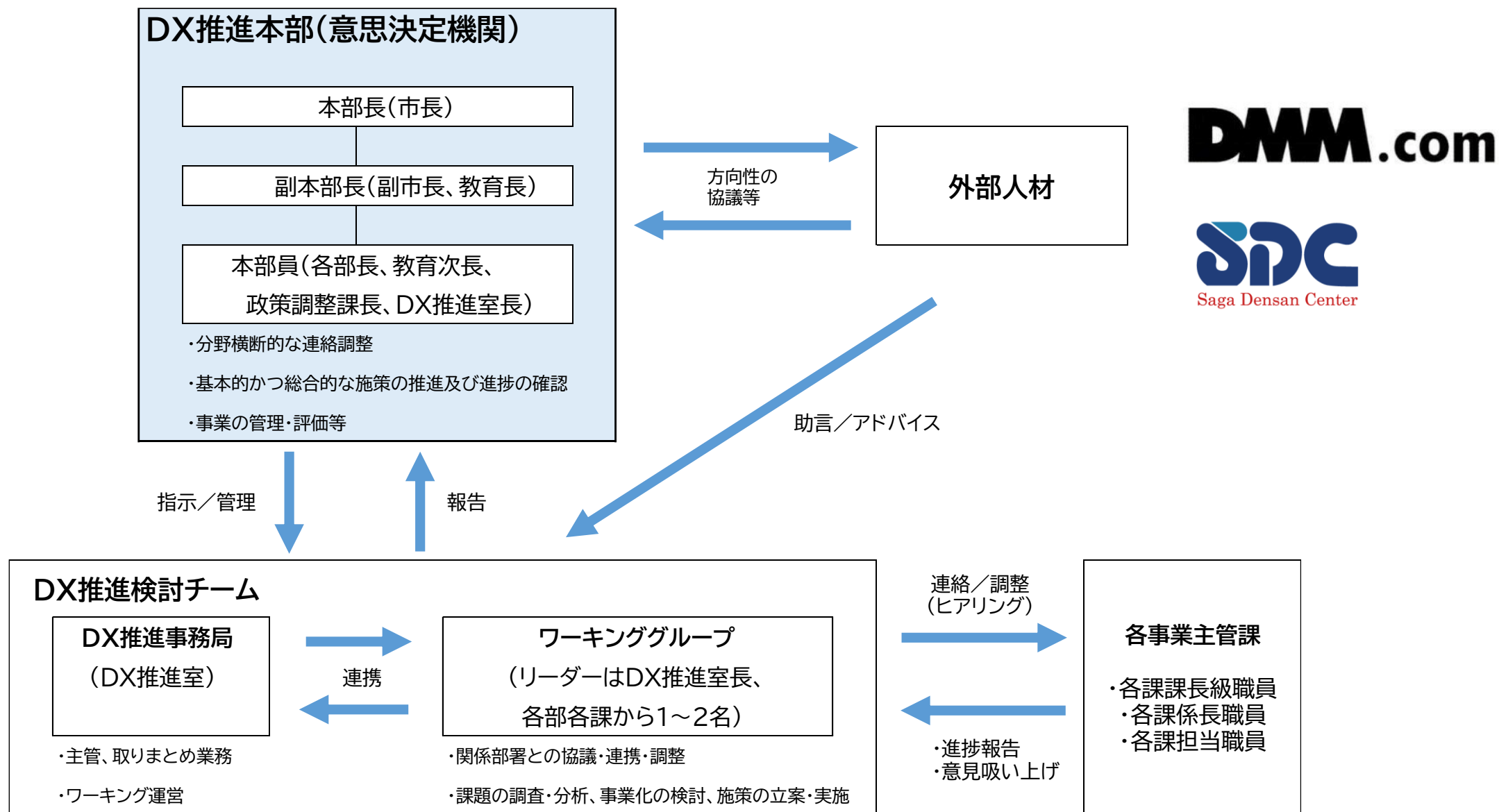
● 市民との接点である「窓口」DXの推進

- ・ 市民部を中心とした各部で積極的に取り組む
- ・ LoGoフォームの活用などにより、全庁的にオンライン申請に積極的に取り組む

● てのひら市役所(市公式LINE)の各分野での活用

- ・ 市役所のデジタル総合窓口として、各分野で活用方法の検討

【参考】 かしまデジタル変革（DX）戦略の推進体制



【参考】かしまデジタル変革（DX）戦略の体系図

基本理念 (ミッション)

『市民目線』の行政サービスや業務のデジタル活用による、みんなが住みやすく暮らしやすいまち

市民の目線に立ち、一人ひとりに寄り添い、行政サービスや業務においてデジタル技術を効果的に活用することで、総合計画で掲げる「みんなが住みやすく暮らしやすいまち」を実現することがDX戦略の使命であり、本市がDXを推進する理由です。

将来めざす姿 (ビジョン)

市民の利便性向上

- ①市民は、最適な（いつでも・どこでも・どんな方法でも）手続きの仕方を選ぶことができます
- ②市民は、手続きの手間を最小限に抑えることができます（書かない・待たない・回らない）
- ③市民は、市役所から必要な情報を適時に受け取ることができます
- ④市民は、施設やサービスをより利用しやすくなります

業務の効率化

- ①職員は、業務の自動化等により、政策立案や市民サービスの提供など、人にかできない業務に専念できます
- ②職員は、互いにサポートしあって、ムダなくスムーズに仕事ができます
- ③職員は、紙の書類を探さなくとも、すぐに必要な情報を取り出すことができます
- ④職員は、最適な場所・環境で仕事ができます

人財育成

- ①職員は、デジタル分野について基本的なことを共有できています
- ②職員は、根拠をきちんと理解した上で、基本的なシステム操作ができます
- ③職員は、現状をきちんと分析し、最適なシステムを導入・利用できます
- ④職員は、主体的に新しい知識・技術の習得に努め、デジタル技術を積極的に取り入れることができます

本戦略を推進するうえでの、将来の鹿島市のあり方であり、市民や職員が日常的に感じる「課題・疑問」が解決された後の鹿島市の目指すべき姿です。

職員の行動指針 (バリュー)

- ① DXは利用者目線で進めます
- ② DXはデジタルを手段に業務改革前提で進めます
- ③ DXは庁内組織の縦割りを排し垣根を取って進めます
- ④ DXは全体最適化を念頭にトータルコストを意識して進めます
- ⑤ DXはチャレンジ精神を持って行動・挑戦して進めます

本戦略を推進するうえでの、本市職員として行動する際の5つの心構えです。これをDX推進の原点とし、常に心に留めておき、また折りに触れて原点に帰ることDXの意義を組織に根付かせます。

戦略・戦術 (アクションプラン)

各課の具体的な取組

(かしまデジタル変革戦略アクションプラン)

ミッション・ビジョンを実現するために実行する個別の具体的な取組であり、ダメなら方向転換ができるように適宜検証・見直しを行います。